

コロナがイスラエルの スタートアップを強くする

コロナ禍で業績を上げるIT企業

株式市場が暴落の淵から回復し始めるなか、各地のスタートアップ・エコシステムは生き残りを懸けて懸命に努力している。IT企業のなかには、好業績を維持しているだけでなく、明らかに成功を収めている企業も出てきた。例えば、ITスタートアップのTechSee社というイスラエル企業は、AI(人工知能)とAR(拡張現実)を駆使し、画像情報による支援サービスを開発した。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生前から、顧客企業のサービスセンターに対して、最終ユーザーのスマートフォン画面に、製品の取り扱い方法などを表示させるサービスを提供することで、顧客企業の経費削減と顧客体験の向上に貢献してきた。COVID-19の感染拡大を受けて、同社においても他のスタートアップと同様、従来からの自社事業とマーケット動向について見直しを迫られた。資金繰りに注意しながら、企業として持続し続けるため、ウィズコロナ・ポストコロナの時代に

おいても売れる製品の販売に力を入れてきた。視覚支援の技術を活用して、技術者がユーザーの自宅にまで出向かなくても、リモートでの非接触により、画面上で作業ができるようにしたのである。ユーザーと技術者双方の感染リスクを減らしながら、ユーザーには技術者のサポートをいつでも提供できる。いまや同社は世界中の有力企業(Verizon/Vodafone/Samsung/Orange)を支援しており、日本ではテリロジーやアイテック阪急阪神などが含まれる。その結果、著しい成長を遂げ、同社の売り上げは3カ月間で3倍、時価総額は2倍になった。

スタートアップ王国のイスラエル

TechSee社のようなケースはイスラエルでは珍しくない。世界の主要国が過去100年において最も深刻な景気後退に陥るなかにも、イスラエルのIT企業への投資額は、記録的な拡大を続けている。とりわけスタートアップについては、2020年上半期の投資額が過去最高を記録した。

OurCrowd
Managing Partner
Denes Ban
デネス・バン

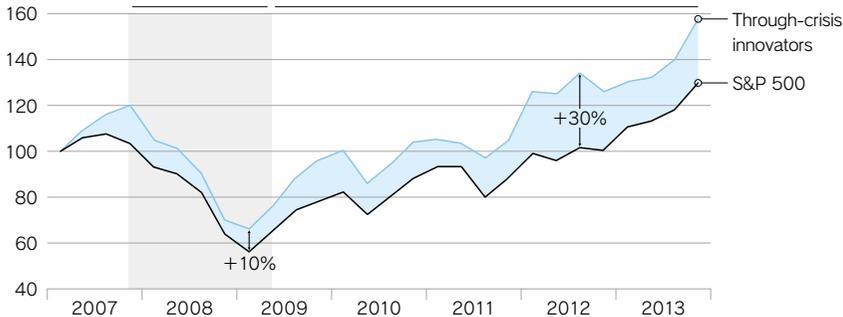


パンデミック発生当初は動揺がみられたが、イスラエルの多くの起業家は即座に動き、それがイスラエルを「スタートアップ王国」と押し上げた。彼らは一夜にして方向転換し、今回の危機をきっかけに新しい挑戦に取り組み始めたのである。その際、多くの起業家は、自らの兵役体験で得た教訓を活かした。そこでは、時々刻々と環境が変化するなかで素早い対応が求められ、時として生死を分けるほど過酷で緊迫感のある状況のもと、臨機応変に対応しなければならぬ。イスラエルのスタートアップにおける新規事業の開発チームは、複数分野にまたがる技術力を有しており、独自技術を使って、パンデミックが誘発した「ニューノーマル」に向き合っている。

イスラエルの病院では、当社の投資先である多くのスタートアップが、現場の医療スタッフと連携し、リモートでの患者の見守り、AIを活用した診断と検査、デジタル顕微鏡などを提供している。また、医療分野での緊急対応だけでなく、急増するリモートでの銀行決済のセキュリティ対策をはじめ、隔離

図表 株価の推移(2007年第1四半期=100)

イノベーションに取り組む企業の時価総額の指数は、景気後退期に平均を10%上回っているだけでなく、景気回復期には平均を30%上回っている。



出所: McKinsey & Company (June 2020) Innovation in a crisis: Why it is more critical than ever

された家庭への食料の宅配、現場作業者不在のもとでの業務の自動化、バーチャルによる専任トレーナーの指導を受けて自宅で行えるフィットネスなどを手掛けている。

コロナがDXを推進する

マイクロソフトのサティア・ナデラCEO

は、「2カ月で2年分のデジタルトランスフォーメーション(DX)が進行した」と述べている。感染拡大を抑えるため、多くの都市が封鎖され、何百万人もが自宅から出ることなく、仕事をし、教育を行い、エンターテインメントを楽しみ、生活必需品を購入すること余儀なくされた。

コロナ禍の発生以前から企業は、変化の激しい時代を生き残るため、自社の中核技術を駆使して自らの課題解決に取り組んできた。このプロセスは、COVID-19によって一気に加速された。また、「必要不可欠な製品・サービス」と「そうでないもの」が明らかになった。この巨大な地殻変動が、人々の働き方や学校教育のあり方、購買行動を大きく変化させ、ZoomやAmazonに代表される勝ち組企業を生み出したのである。

W社社はウェブサイトの制作支援サービスを提供するイスラエル企業である。どの企業も在宅の消費者を対象にオンラインでの販売活動を増やしていることから、同社の株価は2019年比で約2倍に跳ね上がり、売り上げも前年比27%増で推移している。

変化を先取りするスタートアップ

成功事例の背後で、あらゆるものが変化している。バリエーションも個々の企業もコロナ禍によって何らかの影響を受け、サプライチェーン、購買行動、生活様式は事態が一変した。投資家であるわれわれの仕事は、ノイズのなかから予兆を見つけることである。

企業にとって危機とは、前例のない課題である。ニューノーマルに向き合うための遠隔技術やデジタル技術は、中小のスタートアップによって開発されることが多い。それらのスタートアップは、素早くかつ大胆に課題の解決に取り組んでいる。多くの投資家は安全な投資先を選ぶものであるが、賢い投資家や企業は、課題解決に役立つ技術を持つIT企業を探し出し、リスクをとって時代の波に乗ろうとする。このような時期に投資しておく、景気回復期に期待以上の成果が出るのが過去のデータからわかっている。

当社はイスラエルに本拠を置いており、同国トップクラスの才能あるイノベーターに初期の段階から接触でき、迅速に解決策を見つけて出せる有力なチームを発掘するうえで有利な立場にある。前出のTechScout社はその一例である。また、ホンダ、デンソー、豊田通商など世界中の企業と、パートナーとしての関係を持っている。

イスラエルの若きチームが開発したソリューションや技術は、世界屈指の巨大企業さえをも支援している。この事実は何年も前から知られていた。2020年、イスラエルでは技術投資が大幅に拡大している。主だった投資家は、今後この小さな国が、世界中のイノベーションの最前線において、重要な役割を果たしていくことを確信している。

(英文和訳/事務局)